

2025年2月5日
共英製鋼株式会社

米国拠点の工場建設に係るパートナー会社経営陣の訪問を受けました

共英製鋼株式会社（大阪府大阪市、代表取締役社長 廣富靖以）は、2025年1月31日に米国拠点である Vinton Steel LLC（アメリカ合衆国テキサス州、代表取締役社長 棗 浩一郎、以下、ビントン・スチール社）の設備投資計画の一部変更を発表しましたが、その大規模な工場建設工事に向けて、製鋼設備製造を担当する Tenova 社（テノバ社）、圧延設備製造を担当する Pomini Long Rolling Mills 社（ポミニ社）、設計・エンジニアリングを担当する Techint E&C 社（テキント E&C 社）の経営陣が来日し、2月3日に大阪市内にて当社経営陣と会談を行いました。

会談では、この度のビントン・スチール社の新工場建設が、当社グループにとって過去最大規模の重要な投資であることを踏まえ、計画が成功裏に完了するよう、意見交換や質疑応答を通じて、2027年の竣工と速やかな稼働開始を目指し、双方が万全を期して取り組むことを確認しました。



意見交換・質疑応答の様子



Tenova Inc. (USA) 社の
Memoli President & CEO より記念品受領



左から Tenova Inc. (USA) 社 Memoli President & CEO、
Pomini 社 Bottone CEO、
Techint E&C 社 Scarpari CEO、当社社長 高島、
Techint E&C 社 Bacher 会長、
Pomini 社 Masini 営業部長、当社社長 廣富